

学校経営方針

墨田区立菊川小学校
校長 谷澤 あゆみ

基本的な考え

人権尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、人間性豊かな子供を育成します。これからの社会の中核を担えるよう、自ら問題を発見し解決策を立て、それを実行していく行動力と、考えや価値観が異なる相手とも積極的にコミュニケーションを図り、互いの一致点を見出していく対話力を身に付けさせます。困難を自らの意志と能力で乗り越えていけるよう、たくましく生き抜く力を一人一人に育む学校づくりを進めます。

学校教育目標(めざす児童像)

○よく考える子

やる気いっぱい、自力で考え、楽しみながら課題解決を進める子

○思いやりのある子

自己肯定感をもち、互いに認め合い、励まし合う心豊かでやさしい子

○たくましい子

自ら身体を鍛え、自他の生命を尊び、健康で明るく元気な子

学校経営の目標と方向性

すべての児童にとって、自分の居場所があり学びを積み重ねることができる学校、自分の個性をよさとして認め、よりよい生き方を目指していける学校を学校経営の目標とする。

「子供のためになるか」を評価尺度にして、全教職員が協働して誠実な学校経営を進める。

1 学校に行くことが楽しいと感じられる学校にする

○教職員は一人一人の子供をかけがえのない存在として尊重し、子供たちのよさや頑張りを常に認めるようにする。子供ができるようになろうと頑張っていることを認め、できたことを褒める。

○児童が自己肯定感・自己有用感を高め、友達との違いを尊重し認め合える温かな人間関係を構築できるようにする。丁寧な挨拶や言葉遣いから他人を大切にすることを育み、偏見や差別のない学級・学年経営を行う。

2 安全で安心できる学校にする

○健康で安全な生活が送れるよう、子供たちを守る安全管理と安全指導を徹底する

○社会性の基礎となる礼儀や挨拶を教師の姿をもって示すとともに、授業規律や規範意識を確立し、落ち着いた学校生活が送れるようにする。

○児童や保護者が不安や悩みを教員に打ち明けられる信頼関係を構築する。「いやなことがあったから学校を欠席する」という家庭には、よりよい解決方法を提案する。

○不審者を侵入させない施設・設備と防犯体制を確立し、児童の安全確保に努める。

3 生きる力が身に付く学校にする

○確かな学力の定着と向上に向けて学習意欲の向上を図り、基礎・基本の定着とともに思考力・判断力・表現力を伸長させる。

○すべての児童が「わかった」「できた」と思える授業づくりに努め、分からない、できない状況にある児童には、保護者を巻き込んでやれる限りの手立てを尽くす。

○外遊びの推奨、体育授業の充実を図り体力向上を目指すとともに、すすんで人と関わり合い、支え合い、協力し合う集団活動を進めていく。

4 教職員が協働して成果を出していく学校にする。

○教職員が個々の専門性や持ち味を生かし、校内研究や相互の授業参観を通して指導技術を謙虚に学び続け、個々のキャリアアップを目指す。

○主幹教諭、主任教諭が中心となり、組織的な運営を行い、PDCAサイクルを機能させ、常に改善を図っていく。

5 地域から信頼される学校にする

○学校行事や学校公開等、授業や教育活動を積極的に公開し、保護者アンケートや学校評価アンケートを実施する。寄せられた意見や要望を真摯に受け止め改善に努める。

○学校だよりや各種のおたより、ホームページを通じて、教育活動の様子が家庭によく伝わるように情報発信を行い、安心して子供を預けられる学校と認識されるように努める。

○地域協力者に協力を仰ぎ、出前授業や交流会への参加をさらに拡大していく。

学校経営の努力目標

1 教育目標が一人一人の子供の日常生活の姿に現れるように指導する。

- ・日々の教育実践は計画的に、課題には誠実、迅速、柔軟に対応すること。
- ・前年踏襲は、現状維持ではなく後退である。常に前進を目指していく。
- ・報告・連絡・相談を怠らず、生活指導・特別支援教育について、担任・担当者が一人で抱えることがないよう、情報交換を密にし、組織で解決に取り組んでいく。

2 安定した学年・学級経営、専科経営、保健室経営を行う。

- ・教室の清掃を徹底し、換気・照明等、清潔で明るい教室環境を整える。
- ・児童一人一人に愛情をもってかかわり、どの児童にも平等に配慮を行う。
- ・子供のよさを認め、褒めて育てる指導を行う。
- ・授業規律・生活規律については、毅然とした指導を行う。
- ・教師主導ではなく、児童の主体的な活動を促す。
- ・萎縮せず伸び伸びと発言ができる学級、異なることが認め合える学級にする。
- ・体罰・不適切な指導は絶対にあってはならない。

3 学校のきまりを守る生活指導を徹底する

- ・発達段階に応じ、学校のきまりを守れるよう繰り返し指導し、集団への適応を図る。
- ・守るべき最低限のきまりはどの学級でも同じように指導し、家庭と協力して徹底を図る。
- ・人権意識を高め、自分も他人も大切にすることを徹底し自己肯定感・自己有用感を育てる。

4 確かな学力の定着と向上に努める

- ・授業規律を整え、一生懸命学習する児童を育てる。
- ・毎時間の授業のねらいを明確にし、課題解決学習で自力解決の時間を確保し、思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。45分間の授業の充実を図る。
- ・基礎・基本的な内容は確実に教え、習得したことをアウトプットする機会を設け、習熟を図る。つまずきは、個別に指導し確実に定着させるように努力する。
- ・タブレット端末やICT機器を有効に活用し夢中になって活動できる授業づくりを行う。
- ・少人数指導や習熟度別学習で個人差に応じた効果的な指導を行う。放課後補充教室や夏季休業中の補充教室などを活用し下位児童の引き上げを徹底する。

具体的な方策

○確かな学力の定着と向上

- ・学力向上マネジメント校の利点を生かした学力二極化の解消《下位層の引き上げ》
- ・児童の自己理解を促す学力調査への取組と結果分析と活用（学力向上委員会）
- ・朝学習の継続による基礎基本の徹底、習得した内容をアウトプット（学力向上委員会）
- ・パワーアップ週間の振り返りシートと過去問題の活用（学力向上委員会）
- ・自主学習週間を活用した自学自習のためのノート指導の統一と充実（学力向上委員会）
- ・自由進度学習、ジグソー法を活用した授業構成（GIGA推進委員会）
- ・基礎基本の定着を図るタブレット端末の活用（GIGA推進委員会）
- ・主体的に学ぶ児童の育成のための授業づくり（校内研究委員会）
- ・低学年からの算数習熟度別学習の実施（学力向上委員会）
- ・読書活動・体験活動・実験観察・調べる学習の充実（学校図書・教科研究部）

○豊かな心と体力の向上

- ・挨拶、丁寧で優しい言葉遣い、温かく前向きな言葉かけの指導（生活指導部・道徳部）
- ・菊スポタイムの充実、体力向上プランの実践と日常の外遊びの推奨・児童の意識を高める取り組み（体育部）
- ・体力調査の結果分析と活用（体育部）
- ・体育指導技術の向上（教員研修・OJT）
- ・検診結果の活用と啓発（学校保健部）・給食指導と食育の充実（給食部・食育部）

○その他

- ・地域での活躍の奨励、スポーツ・芸術・善行の表彰
- ・特別支援教育、人権教育、キャリア教育の充実と理解の促進
- ・教育相談体制の充実、いじめ・不登校の初期対応（SCとの連携・いじめ対策委員会）
- ・情報モラル教育・消費者教育・法教育等（被害・加害・トラブルの未然防止）